

ねえみてみて！



皆様のおかげで、小規模保育園
おおきな木は、令和4年10月1日
(土) 7周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

初のワークショップイベントや
Instagramの開設など様々チャレ
ンジを行っておりますが、大切に
したいことは、変わらず、大人も子
どもも、それを見ている誰かも「いい
ね」って思える環境作りだと思っ
ております。
これからも、変わらぬ御愛顧の
程、どうぞ宜しくお願いいたしま
す。

さて、第六回目のちょっとひと

きですが「ねえみてみて！」と題しまして、
大切にしている瞬間について書いてみました。お付き合いください。

「ねえ、ぶろっく」「みどりだよ」この瞬間がめちゃくちゃ嬉しいです。
子どもたちは、誰にでも「みてみて」とするわけではなく
好きな人、一緒にみてほしい人に「みてみて」と。「みせてくれるの、嬉しいなあ」「ありがとう」そ
んな言葉がしぜんとでできます。

子どもたちの「みてみて！」は、
自分がみつけたことや、感じたこと、できたことを、好きな人にみてもらいたい
自分の存在を認めてもらいたいという気持ちの表れですよ。

大切にしたいのは
「共感」

自分の存在を無条件で受け止めてくれる存在がいるというのは、安心感や自己肯定感に繋が
ります。
たっぶりの愛情をそそぐ瞬間ですよ。
目線を合わせて「ブロックだね、みどりだね」「おおきいね～、くっつけたの？いいね～」笑顔で
うなずくと、満足気な表情を見せてくれます。

「みてみて」連鎖が始まり、園内が笑顔であふれる瞬間でした。